

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果分析について

結果分析の詳細（小学校）

（１）各教科に関する調査（○、●は県の平均正答率と比較し顕著な項目）

① <国語の結果分析>

○話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる問題

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題【話すこと・聞くこと】

○文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる問題

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

●目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題【話すこと・聞くこと】

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

〔改善に向けた取組み〕について

【言葉の特徴や使い方に関する事項】について、一定の定着がみられたものの、漢字の書き取りについては課題がみられました。日頃、作文や手紙などの書く活動の際には、文章中で活用することを意識的に指導することを大切にしていきます。また、自分の考えを伝えるための表現の工夫に課題がみられたため、児童自身が発表する相手や目的を一層意識できるように、児童の思いや願いに合わせた学習課題を設定することや、どのような資料と表現を用いればよいかを考える過程を大切にすることをとおして、思考力・判断力・表現力等の育成を目指していきます。

② <算数の結果分析>

○数量の関係を、□を用いた式に表すことができるかどうかをみる問題【数と計算】

○直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる問題【図形】

●問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる問題【数と計算】

●道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題【変化と関係】

●速さの意味について理解しているかどうかをみる問題【変化と関係】

〔改善に向けた取組み〕について

基本的な図形の性質の理解や基礎的な計算技能の定着について、一定の成果がみられました。一方で、問題場面の数量関係を捉えることや図形の構成要素を活用して問題解決することに課題がみられました。問題場面や状況をしっかり把握し、図などを活用して数量関係を捉え、立式する過程を大切にすること、また図形の構成要素に着目する見方・考え方を働かせる過程を大切にすることをとおして、思考力・判断力・表現力等の育成を目指していきます。【データの活用】領域においては、複数のグラフから目的に応じて必要なデータに着目し、その特徴や傾向を踏まえて自らの考えを説明・表現できる力の育成に努めていきます。

(2) 児童の質問調査（○、●は肯定的回答の割合の顕著な項目）

- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている
- 授業や学校生活で、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる
- 英語の勉強が好きである
- 英語の授業の内容がよく分かる
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- 朝食を毎日食べている
- 普段（月曜日から金曜日）の１日当たりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしている時間

授業や学校生活の中で、友達との話し合いをとおして自分の考えを広げ深めたり、友達と協力しながら課題解決に取り組んだりしていると回答する割合が県平均に比べ高い傾向にあることから、「学び合い」による授業づくりの成果が伺えます。今後も、個に応じた学びと他者と協働する姿勢を大切にした教育活動の一層の充実を目指していきます。また、英語の勉強に対する肯定的回答の割合が県平均に比べ高い傾向にあることから、外国語専科の教員を町内の小学校に配置したことによる指導の充実が成果としてみられます。今後も、中学校への円滑な接続ができるよう小中学校での連携を図っていきます。その他、「いじめ」に係る項目において、肯定的回答の割合が全体の約 95%以上であることから、いじめは許されない行為であると認識する児童がほとんどです。日頃よりいじめ防止に係る指導に取り組んでいる成果であると伺えます。

一方で、「朝食」の項目において、肯定的回答の割合が県平均に比べ低い傾向にあるとともに、「テレビゲームの時間」の項目においても、「１日当たり２時間以上している」と回答した割合が全体の約 65%であり、県平均と比べても明らかに高い傾向にありました。国の分析において、「テレビゲームの時間が長い児童の方がテストの正答率が低い」という結果が出ていることから、生活習慣の改善やゲーム時間などの約束の徹底については、家庭・保護者と連携して共通理解を図っていきます。